

「農業・農村の地域再生に関する技術シンポジウム」の開催について

ポイント

- ・ 農研機構の農村工学研究所と東北大学は、11月15日に震災被災地域の再生に向けて農業生産基盤の復旧・復興の過程における技術課題の解決策を見出すためのシンポジウムを東北大学百周年記念会館 川内萩ホール（仙台市）で開催します。
- ・ 地域の減災・防災システム、未利用エネルギー活用、新たな農業技術の導入等による農業・農村の再生方策について講演とパネルディスカッションを行います。

概要

農研機構農村工学研究所と東北大学大学院農学研究科は、東日本大震災により被災した地域の農業・農村の再生に資するため、農地・農業水利施設などの農業生産基盤の復旧・復興の過程における技術的課題の解決策を見出し、地域再生のための技術の共有および普及を図ることを目的として、下記のとおりシンポジウムを開催します。

つきましては、この催しを広くご案内いただきますとともに、当日、ご参加の上、紙面、番組等でご紹介いただければ幸いです。

記

- ・ 日時：平成24年11月15日（木）11:00～16:30
 - ・ 場所：東北大学百周年記念会館 川内萩ホール
（〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内40）
 - ・ プログラム：別紙のとおり
 - ・ 定員：600名（先着順、事前申込み必要。当日は空席がある場合のみ受付。）
 - ・ 申込方法：農研機構 農村工学研究所企画管理部業務推進室 運営チーム宛に、ファックス、電話またはメールにてお申し込み下さい。
FAX:029-838-7611 TEL:029-838-7678 E-mail: nkk-unei@ml.affrc.go.jp
 - ・ 参加費：無料
- ※当日の取材申込みについては、メールに、①氏名、②機関名、③メールアドレス、④ムービー撮影の有無を記載いただき、下記問い合わせ先までご連絡ください。

問い合わせ先

シンポジウム事務局：農研機構 農村工学研究所企画管理部業務推進室 運営チーム
E-mail: nkk-unei@ml.affrc.go.jp TEL 029-838-7678

本資料は岩手県、宮城県、福島県の県政記者会、農政クラブ、農林記者会、農業技術クラブ、筑波研究学園都市記者会に配付しています。

(別紙)

「農業・農村の地域再生に関する技術シンポジウム」

日時： 平成24年11月15日(木) 11:00～16:30

主催： (独) 農業・食品産業技術総合研究機構農村工学研究所、東北大学大学院農学研究科

場所： 東北大学百周年記念会館 川内萩ホール (〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内40)
<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/hagihall/>

内容： 農業生産基盤の復旧・復興の技術課題の解決方策と新たな農業技術の導入等によって、農業・農村の活路を見出すため、農業関係技術者、研究者等で情報交換する。

※定員は600名で、事前申込みが必要です。参加費：無料。

参加申込・問い合わせ先：農研機構 農村工学研究所企画管理部業務推進室 運営チーム宛に、
ファックス、電話またはメールにてお申し込み下さい。

FAX:029-838-7611 TEL:029-838-7678 E-mail: nkk-unei@ml.affrc.go.jp

プログラム

1. 挨拶 11:00～11:20
主催者：東北大学大学院農学研究科長 山谷 知行
後援者：復興大臣政務官 郡 和子
宮城県農林水産部長 山田 義輝
2. 基調講演 11:20～12:00
被災地の再生と農業・農村の活路
名古屋大学大学院生命農学研究科 教授 生源寺 眞一
3. 講演 13:10～14:50
 - (1) 農業用施設を活用した減災・防災システムの提案
(独) 農研機構農村工学研究所 毛利 栄征
 - (2) 被災地を再生するための新たな農業技術
東北大学大学院農学研究科 中井 裕
 - (3) 用排水機能の最適化技術の導入による水田最大限活用
(独) 農研機構農村工学研究所 原口 暢朗
 - (4) 農村地域の未利用エネルギーの活用による施設農業
(独) 農研機構農村工学研究所 奥島 里美
 - (5) 農業・農村の復興に向けた農地管理手法、合意形成、人材育成
東北大学大学院農学研究科 伊藤 房雄
4. パネルディスカッション 15:00～16:20
コーディネーター：(独) 農研機構農村工学研究所 小林 宏康
パネラー：東北農政局整備部長 小林 厚司
宮城県農林水産部農林振興課長 菅原 喜久男
東北大学大学院農学研究科准教授 伊藤 豊彰
基調講演者、講演者
5. 閉会の挨拶 16:20～16:30
(独) 農研機構農村工学研究所 所長 高橋 順二